




安全データシート

1. 化学品及び会社情報

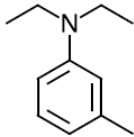
| | |
|--------------|------------------------|
| 化学物質等の名称 | ジエチルメタトルイジン |
| 製品コード | DEmT |
| 会社名 | 株式会社 三星化学研究所 |
| 住所 | 京都市北区上賀茂北ノ原町 14 番地 |
| 担当部門 | 開発・技術部 |
| 電話番号 | 075-781-1177 |
| 緊急連絡電話番号 | 075-781-1177 |
| FAX 番号 | 075-701-7227 |
| 推奨用途及び使用上の制限 | 本物質の主な用途は、医薬・染料中間体である。 |

2. 危険有害性の要約

| | |
|-----------------------|--|
| 健康に対する有害性 急性毒性（経口） | 区分 4 |
| GHS ラベル要素 絵表示 |  |
| 注意喚起語 | 警告 |
| 危険有害性情報 注意書き | 吸入すると有害 |
| 安全対策 | ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。 屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移動し、呼吸し やすい姿勢で休息させること。気分が悪いときは、 医師に連絡すること。 |
| 応急措置 | 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉 しておくこと。 涼しいところに置くこと。 施錠して保管すること。 |
| 保管 | 内容物／容器を都道府県知事の許可を受け た専門の廃棄物処理業者に依頼して廃棄す ること。 |
| 廃棄 | |

3. 組成・成分情報

| | |
|-------------|--|
| 化学物質・混合物の区別 | 化学物質 |
| 化学名または一般名 | N,N-ジエチルメタトルイジン |
| 別名 | N,N-ジエチル-m-トルイジン (N,N-Diethyl- m - toluidine) N,N-ジエチル-3-メチルアニリン (N,N-Diethyl-3- methylaniline) |

| | |
|--------------------|---|
| | N,N-ジエチル-3-メチルベンゼンアミン(N,N-Diethyl-3-methylbenzenamine) |
| | 3-(ジエチルアミノ)トルエン(3-(Diethylamino)toluene) |
| | 3-ジエチルアミノトルエン(3-Diethylaminotoluene) |
| 濃度又は濃度範囲 | 99.0%以上 |
| 分子式 | C ₁₁ H ₁₇ N |
| 化学特性 |  |
| CAS 番号 | 91-67-8 |
| 官報公示整理番号(化審法) | 3-191 |
| 分類に寄与する不純物及び安定化添加物 | 情報なし |

4.応急措置

| | |
|-----------|--|
| 吸入した場合 | 被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 気分が悪いときは、医師に連絡すること。 |
| 皮膚に付着した場合 | 汚染された衣類を脱ぐこと。 皮膚を速やかに洗浄すること。 多量の水と石鹼で洗うこと。 医師の手当、診断を受けること。 |
| 目に入った場合 | 汚染された衣類を再使用する前に洗濯すること。 水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。 その後も洗浄を続けること。 眼の刺激が持続する場合は、医師の診断、手当てを受けること。 |
| 飲み込んだ場合 | 医師の手当、診断を受けること 直ちに医師に連絡すること。 口をすすぐこと。 医師の手当、診断を受けること。 |

5.火災時の措置

| | |
|-------------|--|
| 適切な消火剤 | 小火災：二酸化炭素、粉末消火剤、散水 大火災：散水、噴霧水、耐アルコール性泡消火器 |
| 使ってはならない消火剤 | 棒状注水 |
| 特有の危険有害性 | 有毒性、有害性のあるガスの発生、窒素酸化物の発生、 一酸化炭素、二酸化炭素の発生 |
| 消火を行う者の保護 | 消火作業の際は、適切な空気呼吸器、化学用保護衣 |

を着用する。

6.漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具
および緊急措置

作業者は適切な保護具（8. ばく露防止措置及び保護措置の項を参照）を着用し、眼、皮膚への接触やガスの吸入を避ける。

環境に対する注意事項

周辺環境に影響がある可能性があるため、製品の環境中への流出を避ける。

封じ込め及び浄化の方法及び機
材

すべての発火源を速やかに取除く（近傍での喫煙、火花や火炎の禁止）。

漏れた液やこぼれた液を密閉式の金属又はガラス容器にできる限り集める。

残留液を砂又は不活性吸収剤に吸収させて安全な場所に移す。

この物質を環境中に放出してはならない。

7.取り扱い上の注意事項

取り扱い

技術的対策

「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の措置を行い、必要に応じて保護具を着用する。

使用前に取扱説明書を入手すること。

全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。

熱／火花／裸火／高温のもののような着火源から遠ざけること。－禁煙。

粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。

取扱後はよく手を洗うこと。

この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。

環境への放出を避けること。

保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。

呼吸用保護具を着用すること。

汚染された衣類を再使用する場合には洗濯すること。

接触回避

「10. 安定性及び反応性」を参照。

衛生対策

この製品を使用する時に、飲食又は喫煙しないこと。

取扱い後はよく手を洗うこと。

保管

安全な保管条件

容器を密閉し、換気の良い涼しい場所で保管

安全な容器包装材料

すること。
施錠して保管すること。
強酸化剤、食品や飼料から離しておく。
床面に沿って換気する。
排水管や下水管へのアクセスのない場で貯蔵する。
消防法及び国連輸送法規で規定されている容器を使用する。

8.ばく露防止及び保護措置

| | |
|-----------------|--|
| 管理濃度 | 未設定 |
| 許容濃度 | |
| 日本産衛学会（2022年度版） | 未設定 |
| ACGIH（2022年版） | 未設定 |
| 設備対策 | 取り扱いの場所の近くに、洗眼及び身体洗淨剤のための設備を設ける。 高温下や、ミストが発生する場合は換気装置を使用する。 |
| 保護具 | |
| 呼吸器の保護具 | 保護マスク等 |
| 手の保護 | 保護手袋等 |
| 眼の保護具 | 保護眼鏡（普通眼鏡型、側板付き普通眼鏡型、ゴーグル型） |
| 皮膚及び身体の保護具 | 長袖作業着 |
| 衛生対策 | この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。 |

9.物理的及び化学的性質

| | |
|-----------------------|--------------------------|
| 物理状態 | |
| 物理状態 | 液体 |
| 色 | 淡黄色ないしは褐色透明 |
| 臭い | 特有な薬臭 |
| 融点/凝固点 | データなし |
| 沸点又は初留点 | 231.5°C（EPA DSSTox） |
| 可燃性 | 引火性、可燃性あり |
| 爆発限界及び爆発上限界/可燃限界 | データなし |
| 引火点 | 104°C（クリーブランド開放式）（弊社データ） |
| 自然発火点 | 500°C（GESTIS, 2020） |
| 分解温度 | データなし |
| pH | データなし |
| 動粘性率 | データなし |
| 溶解度 | 僅かに水に溶ける |
| n-オクタノール/水分配係数（log 値） | データなし |

| | |
|-------------|--------------------|
| 蒸気圧 | データなし |
| 密度及び/又は相対密度 | 0.926(20℃) (弊社データ) |
| 相対ガス密度 | データなし |
| 粒子特性 | 該当せず |

10.安定性及び反応性

| | |
|------------|----------------------------------|
| 安定性 | 空気や光にばく露すると暗色になるが、通常の取り扱いにおいては安定 |
| 反応性 | 酸、酸化剤と反応する。 |
| 危険有害反応可能性 | 燃焼の際は、一酸化炭素、二酸化炭素、窒素酸化物などが生成される。 |
| 避けるべき条件 | 空気、光、裸火、高温、酸化剤との混触 |
| 混触危険物質 | 酸化剤 |
| 危険有害な分解生成物 | 一酸化炭素、二酸化炭素、窒素酸化物 |

11.有害性情報

| | |
|------------------|--|
| 急性毒性 | |
| 吸入 (粉じん・ミスト) | ラットを用いた吸入暴露の LC ₅₀ 4660mg/m ³ (4 時間) (National Technical Information Service., OTS0571475, USA) により区分 4 とした。 |
| 皮膚腐食性及び皮膚刺激性 | データなし |
| 眼に対する重篤な損傷性 | データなし |
| 眼刺激性 | データなし |
| 呼吸器感作性 | データなし |
| 皮膚感作性 | データなし |
| 生殖細胞変異原性 | データなし |
| 変異原性 | データなし |
| 遺伝性 | データなし |
| 生殖毒性 | データなし |
| 特定標的臓器毒性 (単回ばく露) | データなし |
| 特定標的臓器毒性 (反復ばく露) | データなし |
| 誤えん有害性 | データなし |
| 誤えん | データなし |

12.環境影響情報

| | |
|-----------|-------|
| 生体毒性 | データなし |
| オゾン層への有害性 | データなし |

13.廃棄上の注意

| | |
|-------|--|
| 残余廃棄物 | 都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。 廃棄物の処理を委託する場合、処理業者等に危険性、有害性を十分告知の上処理を委託する。 |
|-------|--|

汚染容器及び包装

容器は洗浄してリサイクルするか、関連法規制ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。

空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14. 輸送上の注意

国際規制

海上規制情報

航空規制情報

IMO の規定に従う。

ICAO/IATA の規定に従う。

国内規制

海上規制情報

船舶安全法の規定に従う。

航空規制情報

航空法の規定に従う。

陸上規制情報

消防法の規定に従う。

特別な安全上の対策

消防法の規定によるイエローカード携行の対象物

15. 適用法令

消防法

第 4 類引火性液体 第三石油類非水溶性液体 危険物等級 III

16. その他の情報

参考文献

データ毎に記載した。

<記載内容について>

記載内容については現時点で入手した資料に基づいて作成しておりますが、記載のデータ及び評価については必ずしも十分ではありませんので、取扱には注意してください。なお、注意事項については通常の手扱いを対象にしたものですので、特別な手扱いをする場合には、さらに用途・用法に適した安全対策を実施の上、お取扱願います。